第39期特別記念展

巌谷一六の書画展

令和八年四月七日（火）～七月二十一日（金）

小原道城書道美術館

札幌市中央区北２条西２丁目　札幌２・２ビル２階

入館料：300円（大学生以下無料）　休館日：月曜日

ART GALLERY HOKKAIDO
アートギャラリー北海道

日下部鳴鶴、中林梧竹と並ぶ明治の三筆の一人、巌谷一六の書画展を開催します。

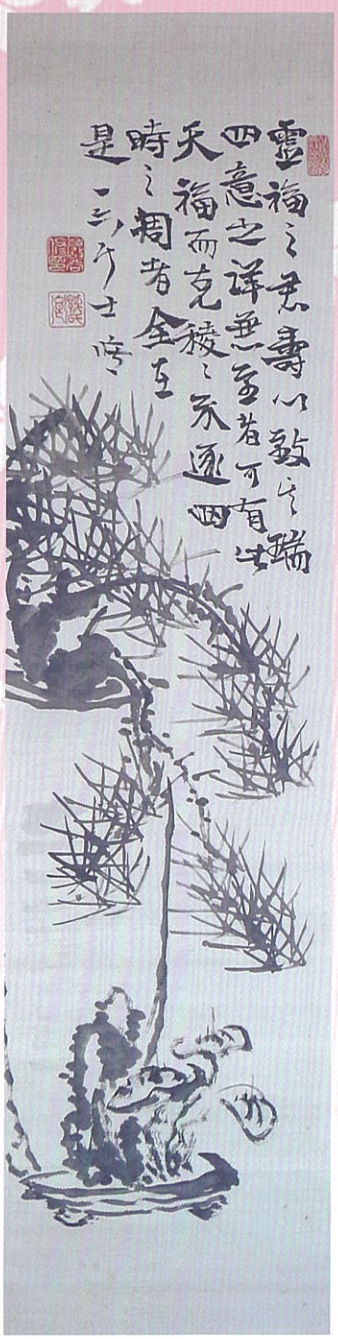
巌谷一六は、江戸時代は近江水口藩の藩医として勤めつつ尊王活動に参加し、多くの漢学者・勤王家と交流しました。この頃は巻菱湖の高弟中沢雪城に師事して流麗な唐様書を学びました。雪城の門からは一六のほか西川春洞・金井金洞などが輩出しています。

明治に入ってからは政府の書記官僚の道を歩み、詔勅や公文書の起草・浄書に携わりました。同僚であった日下部鳴鶴や江馬天江とも親しく交流しました。この頃は、顔真卿の書を基礎とした雄渾な書風に転じ、更には、明治十三年に来日した楊守敬とは深く交わり、六朝書法を学んで大きな影響を受けて、一六独自の書風を確立しました。その書は当時から大変人気があり、明治を代表する書家の一人と言えます。

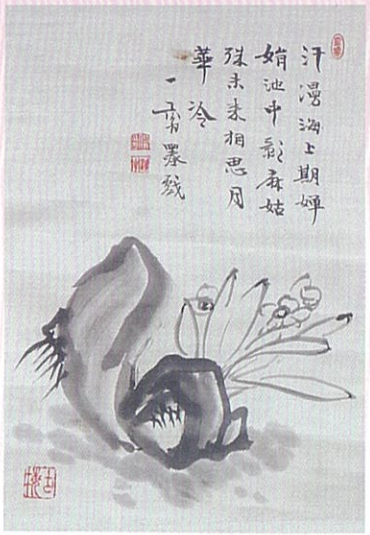
一六は各体の書を能くしたほか画も能くし、多彩な作品を産み出しました。漢詩にも堪能で『一六遺稿』が編まれています。一六はまた多作で、閑職となってからは各地を旅行して多くの揮毫を行い、石碑や屏風も多数残しました。本道にも来遊し、小樽・増毛など日本海側各地を訪れ、多くの作品を残しています。

本展では、一六の多彩な作品三十三点を展覧し、その書業を通覧します。

巌谷一六
（1834～1905）



靈福之君壽以致其瑞～



汗漫海上期～

小原道城書道美術館

〒060-0002
札幌市中央区北２条西２丁目41
札幌２・２ビル２階
お問い合わせ先：011-552-2100
入館料：300 円（大学生以下無料）
開　館：午前 10 時～午後５時
休　館：毎週月曜日
交　通：JR 札幌駅より徒歩５分、
地下鉄さっぽろ駅・大通駅より各徒歩５分